

ぐいぶーペパクラ組立説明書

【はじめに】

作り方が少しずつ難しいので、適当に作ると仕上がりが残念な結果になります。じょうずに作るためにいくつか気をつけることがあります。まず、型紙は少し厚みのあるケント紙などに印刷し、カッターなどで正確にカットしてください。接着には木工ボンドがおすすめです。あまりたくさん付けると、はみ出でて見苦しくなります。すき間が空いてしまったら、紙の切れ端やつまようじなどでボンドを付けましょう。説明書に従って端からできるだけすき間なく組み立てていきましょう。カット面は紙の白色が目立ちますので、気になる方は黒または同色系の薄い色のサインペンなどで色を塗りましょう。インクで手が汚れてペパクラに色が移ってしまうので、お手ふきなどを用意してください。

- 頭を組み立てます。
耳、鼻を差し込む切れ込みも忘れずに切っておきます。
曲面が多いので、丸い棒などで図のように丸みをつけておくと組み立てやすくなります。



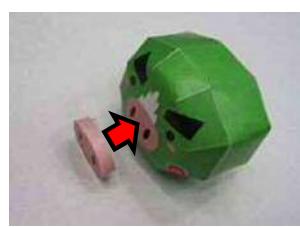
- のりしろ部分を接着していきます。
接着部分にすき間がある場合は、この段階で直しておきます。
すき間にボンドをつけるには、紙の切れ端やつまようじなどを使うとうまくいきます。



- 鼻を組み立てます。
図のようにふちを丸く組み立て、それに沿ってふたをするように接着します。
ふちの継ぎ目のない方が上です。



- 鼻の差し込み口に合わせて差し込み、裏側で折り曲げて接着します。差し込み口が小さいときは、カッターなどで調整します。
押さえすぎて、鼻がくぼまないように注意しましょう。



- 耳を組み立てます。
図のように目の裏と表を貼り合わせ、少し丸みをつけます。



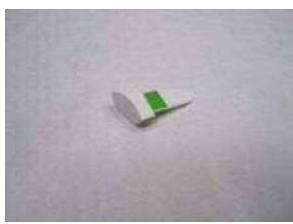
- 耳を頭に差し込み、裏で接着します。



- 体の前と後を組み合わせて体を組み立てます。
しっぽの差し込み口も切っておきましょう。
差し込み口のない方が前です。
足は点線の位置で外側に折っておきます。



- 手を貼り合わせて図のように組み立てます。



- 手を体の差し込み口に差し込み根元を折り曲げて、内側で接着します。
右手は上向きに、左手は下向きにつけます。



- 頭と体を接着します。
体は、前後を間違えないように注意しましょう。



- 木は、大まかに切り取り、点線で二つ折りにして、裏にボンドを付けて貼り合わせ、乾いたら切り抜きます。



ぐいぶーペパクラ組立説明書

12 木と同じ要領でしっぽをつくり、しっぽの根元にボンドをつけ、しっぽの差し込み位置に合わせて図のように接着します。



18 トーチの柄の接着部分が後ろになるように、炎の向きに注意してトーチの上部に差し込み、接着します。



13 木を頭につけていきます。木の差し込み口が小さいときは、カッターで適当に広げます。



19 手と木と顔にボンドを点付けし、トーチを固定します。



14 木の根元にボンドをつけ、差し込み口に半分ほど差し込みます。ボンドが付け根の周りに少したまるくらいが適量です。



20 台を図のように組み立てます。台は、平らな面が前です。台の切れ目に足を差し込み、裏で接着します。



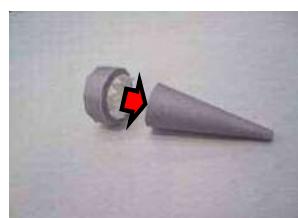
15 木を差し込んだら、絵を見ながら、木のバランスを調整します。



★できあがり★



16 トーチを図のように組み立てていきます。トーチの上部を接着するときは、図18のように炎を差しめるよう、切り込みの向きとトーチの柄の接着部分の位置に注意しましょう。



17 木と同じ要領で炎を作ります。



page2

さくらペパクラ組立説明書

【はじめに】

作り方が少しずつかかるので、適当に作ると仕上がりが残念な結果になります。じょうずに作るためにいくつか気をつけることがあります。
まず、型紙は少し厚みのあるケント紙などに印刷し、カッターなどで正確にカットしてください。接着には木工ボンドがおすすめです。あまりたくさん付けると、はみ出でて見苦しくなります。すき間が空いてしまったら、紙の切れ端やつまようじなどでボンドを付けましょう。説明書に従って端からできるだけすき間なく組み立てていきましょう。カット面は紙の白色が目立ちますので、気になる方は黒または同色系の薄い色のサインペンなどで色を塗りましょう。インクで手が汚れてペパクラに色が移ってしまうので、お手ふきなどを用意してください。

- 1 頭を組み立てます。
耳、鼻を差し込む切れ込みも忘れないで切っておきます。
曲面が多いので、丸い棒などで図のように丸みをつけておくと組み立てやすくなります。



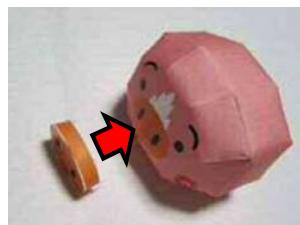
- 2 のりしろ部分を接着していきます。
接着部分にすき間がある場合は、この段階で直しておきます。
すき間にボンドをつけるには、紙の切れ端やつまようじなどを使うとよくなります。



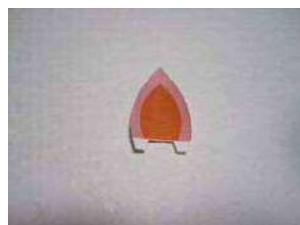
- 3 鼻を組み立てます。
図のようにふちを丸く組み立て、それに沿ってふたをするように接着します。
ふちの継ぎ目のない方が上です。



- 4 鼻の差し込み口に合わせて差し込み、裏側で折り曲げて接着します。差し込み口が小さいときは、カッターなどで調整します。
押さえすぎて、鼻がくぼまないように注意しましょう。



- 5 耳を組み立てます。
図のように耳の裏と表を貼り合わせ、少し丸みをつけます。



- 6 耳を頭に差し込み、裏で接着します。



- 7 体の前と後を組み合わせて体を組み立てます。
しっぽの差し込み口も切っておきましょう。
差し込み口のない方が前です。
足は点線の位置で外側に折っておきます。



- 8 手を貼り合わせて図のように組み立てます。



- 9 手を体の差し込み口に差し込み根元を折り曲げて、内側で接着します。
右手は下向きに、左手は上向きにつけます。



- 10 頭と体を接着します。
体は、前後を間違えないように注意しましょう。



- 11 花は、大まかに切り取り、点線で二つ折りにして、裏にボンドを付けて貼り合わせ、乾いたら切り抜きます。



さくらペパクラ組立説明書

12 花と同じ要領でしっぽをつくり、しっぽの根元にボンドをつけ、しっぽの差し込み位置に合わせて図のように接着します。



18 トーチの柄の接着部分が後ろになるように、炎の向きに注意してトーチの上部に差し込み、接着します。



13 花を頭につけていきます。
花の差し込み口が小さいときは、カッターで適当に広げます。



19 手と花と顔にボンドを点付けし、トーチを固定します。



14 花の根元にボンドをつけ、差し込み口に半分ほど差し込みます。
ボンドが付け根の周りに少したまるくらいが適量です。花を差し込んだら、バfansを調整します。



20 台を図のように組み立てます。
台は、平らな面が前です。
台の切れ目に足を差し込み、裏で接着します。



15 花と同じ要領でかみかざりをつくり、図のように3カ所にボンドをつけて接着します。



★できあがり★



16 トーチを図のように組み立てていきます。
トーチの上部を接着するときは、図18のように炎を差しめるよう、切り込みの向きとトーチの柄の接着部分の位置に注意しましょう。



17 花と同じ要領で炎を作ります。



page2

かごぶーペパクラ組立説明書

【はじめに】

作り方が少しずつかかるので、適当に作ると仕上がりが残念な結果になります。じょうずに作るためにいくつか気をつけることがあります。
まず、型紙は少し厚みのあるケント紙などに印刷し、カッターなどで正確にカットしてください。接着には木工ボンドがおすすめです。あまりたくさん付けると、はみ出でて見苦しくなります。すき間が空いてしまったら、紙の切れ端やつまようじなどでボンドを付けましょう。説明書に従って端からできるだけすき間なく組み立てていきましょう。カット面は紙の白色が目立ちますので、気になる方は黒または同色系の薄い色のサインペンなどで色を塗りましょう。インクで手が汚れてペパクラに色が移ってしまうので、お手ふきなどを用意してください。

- 1 頭を組み立てます。
耳、鼻を差し込む切れ込みも忘れずに切っておきます。
曲面が多いので、丸い棒などで図のように丸みをつけておくと組み立てやすくなります。



- 2 のりしろ部分を接着していきます。
接着部分にすき間がある場合は、この段階で直しておきます。



- 3 鼻を組み立てます。
図のようにふちを丸く組み立て、それに沿ってふたをするように接着します。



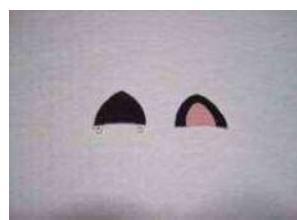
- 4 赤丸のついたところは裏にボンドをつけ、それ以外ののりしろは、内側に折り、表にボンドをつけます。
ふちの継ぎ目がない方が上です。



- 5 鼻の差し込み口に合わせて差し込み、裏側で折り曲げて接着します。差し込み口が小さいときは、カッターなどで調整します。
押さえすぎて、鼻がくぼまないように注意しましょう。



- 6 耳の裏と表を貼り合わせます。



- 7 少し丸みをつけています。



- 8 耳を頭に差し込み、裏で接着します。



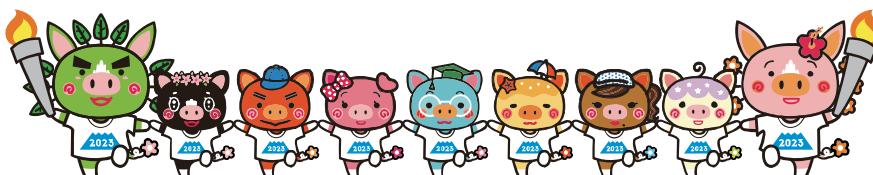
- 9 体の前と後を組み合わせて体を組み立てます。
しっぽの差し込み口も切っておきましょう。
足は点線の位置で外側に折っておきます。



- 10 手を貼り合わせて図のように組み立てます。

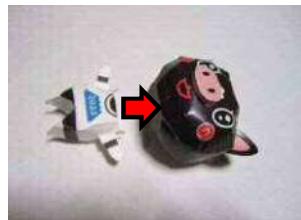


- 11 手を体の差し込み口に差し込み根元を折り曲げて、内側で接着します。
両手とも上向きに付けます。



かごぶーペパクラ組立説明書

12 頭と体を接着します。
差し込み口がない方が前です。
体は、前後を間違えないように注意しましょう。



13 かみかざりとしっぽは、大まかに切り取り、点線で二つ折りにし、裏にボンドを付けて貼り合わせ、乾いたら切り抜きます。
かみかざりはすべて接着しないで14番のように接着します。



14 かみかざりは輪っかにして、のりしろをはさみ込むむようにして接着します。



15 かみかざりの葉っぱの部分を折り、頭に接着します。
後ろの部分も点付けで接着します。



16 しっぽの根元にボンドを付け、しっぽの差し込み位置に合わせて図のように接着します。



17 台を図のように組み立てます。
台は、平らな面が前です。
台の切れ目に足を差し込み、裏で接着します。



★できあがり★



page2

あそぶ一ペパクラ組立説明書

【はじめに】

作り方が少しずつ難しいので、適当に作ると仕上がりが残念な結果になります。じょうずに作るためににはいくつか気をつける事があります。
まず、型紙は少し厚みのあるケント紙などに印刷し、カッターなどで正確にカットしてください。接着には木工ボンドがおすすめです。あまりたくさん付けると、はみ出して見苦しくなります。すき間が空いてしまったら、紙の切れ端やつまようじなどでボンドを付けましょう。説明書に従って端からできるだけすき間なく組み立てていきましょう。カット面は紙の白色が目立ちますので、気になる方は黒または同色系の薄い色のサインペンなどで色を塗りましょう。インクで手が汚れてベバクラに色が移ってしまうので、お手ふきなどを用意してください。

- 1 頭を組み立てます。
耳、鼻を差し込む切れ込みも忘れないで切っておきます。
曲面が多いので、丸い棒などで図のように丸みをつけておくと組み立てやすくなります。



- 2 のりしろ部分を接着します。
接着部分にすき間がある場合は、この段階で直しておきます。



- 3 鼻を組み立てます。
図のようにふちを丸く組み立て、それに沿ってふたをするように接着します。



- 4 赤丸のついたところは裏にボンドをつけ、それ以外ののりしろは、内側に折り、表にボンドをつけます。
ふちの継ぎ目がない方が上です。



- 5 鼻の差し込み口に合わせて差し込み、裏側で折り曲げて接着します。差し込み口が小さいときは、カッターなどで調整します。
押さえすぎて、鼻がくぼまないように注意しましょう。



- 6 耳の裏と表を貼り合せて、少し丸みをつけています。



- 7 耳を頭に差し込み、裏で接着します。



- 8 体の前と後を組み合わせて体を組み立てます。
しっぽの差し込み口も切っておきましょう。
足は点線の位置で外側に折っておきます。



- 9 手を貼り合わせて図のように組み立てます。



- 10 手を体の差し込み口に差し込み根元を折り曲げて、内側で接着します。



- 11 両手とも上向きに付けます。



あそぶ一ペパクラ組立説明書

12 頭と体を接着します。
差し込み口がない方が前です。
体は、前後を間違えないように注意しましょう。



13 ぼうしを組み立てます。



14 頭の点線の〇に合わせてぼうしを接着します。



15 しっぽは、大まかに切り取り、点線で二つ折りにし、裏にボンドを付けて貼り合わせ、乾いたら切り抜きます。



★できあがり★



16 しっぽの根元にボンドを付け、しっぽの差し込み位置に合わせて図のように接着します。



17 台を図のように組み立てます。
台は、平らな面が前です。
台の切れ目に足を差し込み、裏で接着します。



page2

らぶぶーペパクラ組立説明書

【はじめに】

作り方が少しちゃらかないので、適当に作ると仕上がりが残念な結果になります。じょうずに作るためにいくつか気をつけることがあります。まず、型紙は少し厚みのあるケント紙などに印刷し、カッターなどで正確にカットしてください。接着には木工ボンドがおすすめです。あまりたくさん付けると、はみ出でて見苦しくなります。すき間が空いてしまったら、紙の切れ端やつまようじなどでボンドを付けましょう。説明書に従って端からできるだけすき間なく組み立てていきましょう。カット面は紙の白色が目立ちますので、気になる方は黒または同色系の薄い色のサインペンなどで色を塗りましょう。インクで手が汚れてペパクラに色が移ってしまうので、お手ふきなどを用意してください。

- 1 頭を組み立てます。
耳、鼻を差し込む切れ込みも忘れないで切っておきます。
曲面が多いので、丸い棒などで図のように丸みをつけておくと組み立てやすくなります。



- 2 のりしろ部分を接着していきます。
接着部分にすき間がある場合は、この段階で直しておきます。



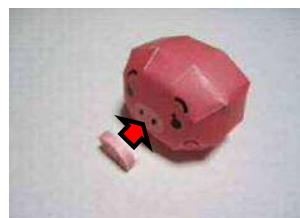
- 3 鼻を組み立てます。
図のようにふちを丸く組み立て、それに沿ってふたをするように接着します。



- 4 赤丸のついたところは裏にボンドをつけ、それ以外ののりしろは、内側に折り、表にボンドをつけます。
ふちの継ぎ目がない方が上です。



- 5 鼻の差し込み口に合わせて差し込み、裏側で折り曲げて接着します。差し込み口が小さいときは、カッターなどで調整します。
押さえすぎて、鼻がくぼまないように注意しましょう。



- 6 耳の裏と表を貼り合わせて、少し丸みをつけています。



- 7 耳を頭に差し込み、裏で接着します。
ハート型の耳は図の位置に接着します。



- 8 体の前と後を組み合わせて体を組み立てます。
しっぽの差し込み口も切っておきましょう。
足は点線の位置で外側に折っておきます。



- 9 手を貼り合わせて図のように組み立てます。



- 10 手を体の差し込み口に差し込み根元を折り曲げて、内側で接着します。

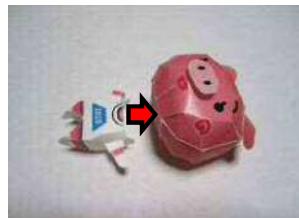


- 11 両手とも上向きに付けます。



らぶぶーペパクラ組立説明書

12 頭と体を接着します。
差し込み口がない方が前です。
体は、前後を間違えないように注意しましょう。



13 リボンとしっぽは、大まかに切り取り、点線で二つ折りにし、裏にボンドを付けて貼り合わせ、乾いたら切り抜きます。



14 図の位置にリボンを接着します。頭と耳に接する部分にボンドで点付けします。



15 しっぽの根元にボンドを付け、しっぽの差し込み位置に合わせて図のように接着します。



16 台を図のように組み立てます。
台は、平らな面が前です。
台の切れ目に足を差し込み、裏で接着します。



★できあがり★



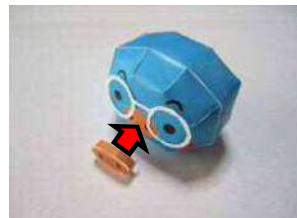
page2

燃ゆる感動かごしま国体 まなぶーペパクラ組立説明書

【はじめに】

作り方が少しずつかかるので、適当に作ると仕上がりが残念な結果になります。じょうずに作るためにいくつか気をつけることがあります。まず、型紙は少し厚みのあるケント紙などに印刷し、カッターなどで正確にカットしてください。接着には木工ボンドがおすすめです。あまりたくさん付けると、はみ出でて見苦しくなります。すき間が空いてしまったら、紙の切れ端やつまようじなどでボンドを付けましょう。説明書に従って端からできるだけすき間なく組み立てていきましょう。カット面は紙の白色が目立ちますので、気になる方は黒または同色系の薄い色のサインペンなどで色を塗りましょう。インクで手が汚れてペパクラに色が移ってしまうので、お手ふきなどを用意してください。

- 6 鼻の差し込み口に合わせて差し込み、裏側で折り曲げて接着します。差し込み口が小さいときは、カッターなどで調整します。押さえすぎて、鼻がくぼまないように注意しましょう。



- 1 頭を組み立てます。耳、鼻を差し込む切れ込みも忘れずに切っておきます。曲面が多いので、丸い棒などで図のように丸みをつけておくと組み立てやすくなります。



- 7 耳の裏と表を貼り合わせて、少し丸みをつけます。



- 2 のりしろ部分を接着していきます。接着部分にすき間がある場合は、この段階で直しておきます。



- 8 耳を頭に差し込み、裏で接着します。



- 3 めがねを顔に貼り付けます。ボンドはめがねの中央部分だけに付け、図のように接着します。鼻の差し込み部分が隠れないように注意しましょう。



- 9 体の前と後を組み合わせて体を組み立てます。しっぽの差し込み口も切っておきましょう。足は点線の位置で外側に折っておきます。



- 4 鼻を組み立てます。図のようにふちを丸く組み立て、それに沿ってふたをするように接着します。



- 10 手を貼り合わせて、図のように体の差し込み口に差し込み根元を折り曲げて、内側で接着します。



- 5 赤丸のついたところは裏にボンドをつけ、それ以外ののりしろは、内側に折り、表にボンドをつけます。ふちの継ぎ目がない方が上です。



- 11 両手とも上向きに付けます。

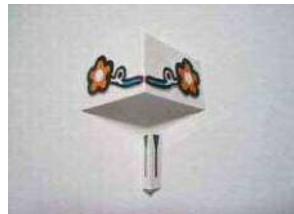


まなぶーペパクラ組立説明書

12 頭と体を接着します。
差し込み口がない方が前です。
体は、前後を間違えないように注意しましょう。



13 しっぽとぼうしのふさ
は、大まかに切り取
り、点線で二つ折りに
し、裏にボンドを付けて
貼り合わせ、乾いたら
切り抜きます。



14 ぼうしを組み立てま
す。
四角い部分は二つ折り
にして裏にボンドをぬ
り、貼り合わせます。
まるい部分のふちにボ
ンドを付けて点線の○
に合わせて接着しま
す。



15 頭の点線の○に合わせ
てぼうしを接着しま
す。
ぼうしのふさは先端に
ボンドを付け、図のよ
うに接着します。



16 しっぽの根元にボンド
を付け、しっぽの差し
込み位置に合わせて図
のように接着します。



17 台を図のように組み立
てます。
台は、平らな面が前で
す。
台の切れ目に足を差し
込み、裏で接着しま
す。



★できあがり★



page2

すなぶーペパクラ組立説明書

【はじめに】

作り方が少しずかしいので、適当に作ると仕上がりが残念な結果になります。じょうずに作るためにいくつか気をつけることがあります。まず、型紙は少し厚みのあるケント紙などに印刷し、カッターなどで正確にカットしてください。接着には木工ボンドがおすすめです。あまりたくさん付けると、はみ出でて見苦しくなります。すき間が空いてしまったら、紙の切れ端やつまようじなどでボンドを付けましょう。説明書に従って端からできるだけすき間なく組み立てていきましょう。カット面は紙の白色が目立ちますので、気になる方は黒または同色系の薄い色のサインペンなどで色を塗りましょう。インクで手が汚れてペパクラに色が移ってしまうので、お手ふきなどを用意してください。

- 1 頭を組み立てます。
耳、鼻を差し込む切れ込みも忘れないで切っておきます。
曲面が多いので、丸い棒などで図のように丸みをつけておくと組み立てやすくなります。



- 2 のりしろ部分を接着していきます。
接着部分にすき間がある場合は、この段階で直しておきます。



- 3 鼻を組み立てます。
図のようにふちを丸く組み立て、それに沿ってふたをするように接着します。



- 4 赤丸のついたところは裏にボンドをつけ、それ以外ののりしろは、内側に折り、表にボンドをつけます。
ふちの継ぎ目がない方が上です。



- 5 鼻の差し込み口に合わせて差し込み、裏側で折り曲げて接着します。差し込み口が小さいときは、カッターなどで調整します。
押さえすぎて、鼻がくぼまないように注意しましょう。



- 6 耳の裏と表を貼り合させて、少し丸みをつけています。



- 7 耳を頭に差し込み、裏で接着します。



- 8 体の前と後を組み合わせて体を組み立てます。
しっぽの差し込み口も切っておきましょう。
足は点線の位置で外側に折っておきます。



- 9 手を貼り合わせて、図のように体の差し込み口に差し込み根元を折り曲げて、内側で接着します。



- 10 両手とも上向きに付けます。



- 11 頭と体を接着します。
差し込み口がない方が前です。
体は、前後を間違えないように注意しましょう。



すなぶーペパクラ組立説明書

12 パラソルを組み立てます。柄の部分は丸めて筒にしたあと、指先でくるくるしごいてできるだけ細くします。うまくできないときは、つまようじを黒くぬって代用してください。



18 台を図のように組み立てます。台は、平らな面が前です。台の切れ目に足を差し込み、裏で接着します。



13 柄をパラソルに差し込んで図のように組み立てます。



14 頭にパラソルを差し込んで接着します。



15 ひとでとしっぽは、大まかに切り取り、点線で二つ折りにし、裏にボンドを付けて貼り合わせ、乾いたら切り抜きます。



★できあがり★

16 ひとでを図のように右耳と頭に点付けで接着します。表と裏がありますので、注意してください。



17 しっぽの根元にボンドを付け、しっぽの差し込み位置に合わせて図のように接着します。



page2

ゆゆぶーペパクラ組立説明書

【はじめに】

作り方が少しずかしいので、適当に作ると仕上がりが残念な結果になります。じょうずに作るためにいくつか気をつけることがあります。まず、型紙は少し厚みのあるケント紙などに印刷し、カッターなどで正確にカットしてください。接着には木工ボンドがおすすめです。あまりたくさん付けると、はみ出して見苦しくなります。すき間が空いてしまったら、紙の切れ端やつまようじなどでボンドを付けましょう。説明書に従って端からできるだけすき間なく組み立てていきましょう。カット面は紙の白色が目立ちますので、気になる方は黒または同色系の薄い色のサインペンなどで色を塗りましょう。インクで手が汚れてペパクラに色が移ってしまうので、お手ふきなどを用意してください。

- 1 頭を組み立てます。
耳、鼻を差し込む切れ込みも忘れないで切っておきます。
曲面が多いので、丸い棒などで図のように丸みをつけておくと組み立てやすくなります。



- 2 のりしろ部分を接着していきます。
接着部分にすき間がある場合は、この段階で直しておきます。



- 3 鼻を組み立てます。
図のようにふちを丸く組み立て、それに沿ってふたをするように接着します。



- 4 赤丸のついたところは裏にボンドをつけ、それ以外ののりしろは、内側に折り、表にボンドをつけます。
ふちの継ぎ目がない方が上です。



- 5 鼻の差し込み口に合わせて差し込み、裏側で折り曲げて接着します。差し込み口が小さいときは、カッターなどで調整します。
押さえすぎて、鼻がくぼまないように注意しましょう。



- 6 耳の裏と表を貼り合わせて、少し丸みをつけています。



- 7 耳を頭に差し込み、裏で接着します。



- 8 体の前と後を組み合わせて体を組み立てます。
しっぽの差し込み口も切っておきましょう。
足は点線の位置で外側に折っておきます。



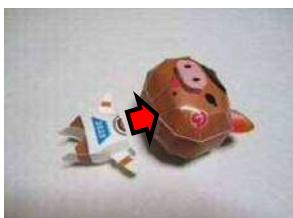
- 9 手を貼り合わせて図のように組み立てます。



- 10 手を体の差し込み口に差し込み根元を折り曲げて、内側で接着します。
両手とも上向きに付けます。



- 11 頭と体を接着します。
差し込み口がない方が前です。
体は、前後を間違えないように注意しましょう。



ゆゆぶーペパクラ組立説明書

12 タオルを図のように折り、接着します。
少し厚みを出したいときは、内側に同じ大きさの紙を2~3枚はさみ込むとよいでしょう。



18 台を図のように組み立てます。
台は、平らな面が前です。
台の切れ目に足を差し込み、裏で接着します。



13 二つ折りにします。
頭の形に合わせて、手前にも少し丸みをつけます。



14 図を参考にして、タオルを頭に貼り付けます。



15 かみとしっぽは、大まかに切り取り、点線で二つ折りにし、裏にボンドを付けて貼り合わせ、乾いたら切り抜きます。



★できあがり★

16 かみを図の位置に差し込みながら接着します。



17 しっぽの根元にボンドを付け、しっぽの差し込み位置に合わせて図のように接着します。



ほしぶーペパクラ組立説明書

【はじめに】

作り方が少しずかしいので、適当に作ると仕上がりが残念な結果になります。じょうずに作るためにいくつか気をつけることがあります。まず、型紙は少し厚みのあるケント紙などに印刷し、カッターなどで正確にカットしてください。接着には木工ボンドがおすすめです。あまりたくさん付けると、はみ出して見苦しくなります。すき間が空いてしまったら、紙の切れ端やつまようじなどでボンドを付けましょう。説明書に従って端からできるだけすき間なく組み立てていきましょう。カット面は紙の白色が目立ちますので、気になる方は黒または同色系の薄い色のサインペンなどで色を塗りましょう。インクで手が汚れてペパクラに色が移ってしまうので、お手ふきなどを用意してください。

- 1 頭を組み立てます。
耳、鼻を差し込む切れ込みも忘れないで切っておきます。
曲面が多いので、丸い棒などで図のように丸みをつけておくと組み立てやすくなります。



- 2 のりしろ部分を接着していきます。
接着部分にすき間がある場合は、この段階で直しておきます。



- 3 鼻を組み立てます。
図のようにふちを丸く組み立て、それに沿ってふたをするように接着します。



- 4 赤丸のついたところは裏にボンドをつけ、それ以外ののりしろは、内側に折り、表にボンドをつけます。
ふちの継ぎ目がない方が上です。



- 5 鼻の差し込み口に合わせて差し込み、裏側で折り曲げて接着します。差し込み口が小さいときは、カッターなどで調整します。
押さえすぎて、鼻がくぼまないように注意しましょう。



- 6 耳の裏と表を貼り合わせて、少し丸みをつけています。



- 7 耳を頭に差し込み、裏で接着します。



- 8 体の前と後を組み合わせて体を組み立てます。
しっぽの差し込み口も切っておきましょう。
足は点線の位置で外側に折っておきます。



- 9 手を貼り合わせて図のように組み立てます。



- 10 手を体の差し込み口に差し込み根元を折り曲げて、内側で接着します。

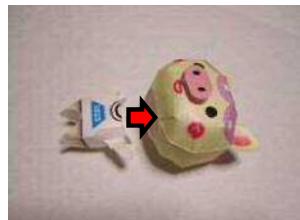


- 11 両手とも上向きに付けます。



ほしぶ一ペパクラ組立説明書

12 頭と体を接着します。
差し込み口がない方が前です。
体は、前後を間違えないように注意しましょう。



13 かみとしっぽは、大まかに切り取り、点線で二つ折りにし、裏にボンドを付けて貼り合わせ、乾いたら切り抜きます。



14 かみを頭に差し込み、接着します。



15 しっぽの根元にボンドを付け、しっぽの差し込み位置に合わせて図のように接着します。



16 台を図のように組み立てます。
台は、平らな面が前です。
台の切れ目に足を差し込み、裏で接着します。



★できあがり★



page2